



立志式（2年生）

1月28日（土）、小雪の舞い散る中、2年生101名一人ひとりが、同級生や保護者の方に見守られて、立志の誓いを発表しました。

数え年15歳の中学2年生を対象にした「立志式」は平安時代に「成人の儀」として誕生した「元服の儀」に由来します。肉体的、精神的にも、子どもから大人に変わっていくちょうど真ただ中にあり、間もなく最終学年を迎える2年生にとって、これまでの自分を振り返り、自己理解を深め、これからの生き方について考えるよい契機になったことと思います。

幕末の蘭学者橋本左内は、14歳で自己を啓発する書物「啓発録」を執筆しました。そこには、5つの心構えが記されています。

- ・稚心を去る（甘えやわがままから抜け出せ）
- ・気を振るう（気持ちを奮い立たせるよう心がける）
- ・志を立てる（人生の目標を立てよ、社会のために役立つ人になれ）
- ・学に勉める（学問だけでなく、正しい生き方を学べ）
- ・交友を択ぶ（互いに励まし合い、注意し合えるような友をこそ選べ）

まだまだ稚心を捨てきれず、時折弱い自分に負けそうになる生徒もいますが、ひだまりのような集団をめざす2年生は、集団の力でたくましく前進してってくれるものと期待します。そして、立志の誓いの言葉を意識しながら、張りのある学校生活を送ってほしいと思います。【文責:谷口】

人権教育講演会（全学年・保護者）

1月28日（土）に、全校生徒・保護者参加で、人権教育講演会がありました。阿波ひろみさん、マウンテンマウスのみあしいさんを講師として迎え、「命喜ぶとき～生まれてきてくれてありがとう～」の演題でご講演いただきました。「松陰先生のメガネ」や「卵の外からツンツンの歌」など、生徒や保護者、先生方も一緒に参加しながらの時間だったので、雪の降るとても寒い体育館でしたが、あっという間の70分でした。

生徒の感想は、前向きな言葉であふれていて、感謝の気持ちを家族に伝えたいということを書いていました。保護者の皆様、御参加いただきありがとうございました。【文責:山田】

